

## 対象ソフトウェアのサポート条件

### 第1条（契約者の協力）

1. 当社は、当社がPPサポートを契約者に提供するにあたり必要と判断した場合、契約者に対し、次の各号に定める協力を要請することができるものとし、契約者は、当社からの当該要請に応じるものとします。
  - (1) 必要な資料および情報を契約者の費用と責任において当社に提供すること
  - (2) 必要な通信環境を契約者の費用と責任において準備すること
  - (3) 当社がPPサポートの提供を行うために必要な範囲内で対象製品の稼働を停止すること
2. 契約者は、対象ソフトウェアを正しく運用するために、対象ソフトウェアに関する操作マニュアル等で指定された日常保守・操作手順等を遵守するものとします。
3. 契約者は、サービス提供用機器の故障、不適切な使用またはPPサポートの提供に伴うサービス提供用機器の稼働の停止によるコンピュータ・プログラムおよびデータの破壊、消滅に備え、契約者の費用と責任において適切な措置を講じておくものとします。

### 第2条（契約者の負担する費用）

契約者は、次の各号に定める契約者に生じた費用を直接負担するものとします。

- (1) PPサポートの提供を受ける為に要した記録媒体その他の消耗品に係る費用
- (2) PPサポートの提供を受ける為に要した電気料金等の光熱費
- (3) PPサポートの提供を受ける為に要した通信費

### 第3条（責任の制限）

1. 当社は、PPサポートの提供において、サービス仕様書または使用許諾条件等に定めるサポートサービス内容どおりにサポートが提供されなかった場合、利用期間内に限り、適正な内容のPPサポートをすみやかに再実施するものとします。
2. 前項に該当する場合にNEC当社が負うべき責任は、前項に明記されたPPサポートの再実施に限られるものとし、その他、法律上の契約不適合責任および損害賠償責任を含むいかなる責任も負わないものとします。

### 第4条（マイナンバーの取り扱い）

1. 当社は、PPサポートに関して個人番号（「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成二十五年五月三十一日法律第二十七号）」第二条第5項に定めるものをいいます）をその内容に含む電子データ（対象ソフトウェアに保存されているものを含みます）および印刷物等（以下あわせて「電子データ等」といいます）を取り扱わず、契約者から受領したメモリダンプ内の個人番号をその内容に含む電子データを再現しないものとします。
2. 契約者は、対象ソフトウェアまたは対象ソフトウェアに内蔵される記憶装置等（記録媒体を含みます）に個人番号をその内容に含む電子データが保存される可能性がある場合、個人番号の収集および取り扱いを防止するための措置として、当該対象ソフトウェアおよび当該記憶装置等に対するログイン認証および電子データの暗号化等のアクセス制御を行うものとします。なお、当該アクセス制御が行われていないことが判明した場合、当社は、当該アクセス制御の実施またはその他の必要な措置が講じられるまで、合理的な範囲内でPPサポートの一部または全部の提供を中断できるものとします。
3. 契約者は、PPサポートに関して当社に対し個人番号をその内容に含む電子データ等を提出する場合、事前に当社に対してその旨を通知するものとします。当社は、当該事前通知なく受領した電子データ等につき個人番号をその内容に含まないものとして取り扱うものとします。なお、当該事前通知なしに受領した電子データ等に個人番号が含まれていることが判明した場合、直ちに当該電子データ等の取り扱いを中止し、これを契約者に返却または破棄することができるものとします。

### 第5条（サポートID等の取り扱い）

契約者は、契約者がPPサポートを利用するために当社が提供するサポートID、ユーザID等およびそのパスワード（以下「サポートID等」といいます）を、第三者に開示、貸与、共有しないものとし、サポートID等が漏洩することのないよう、自己の費用と責任において厳重に管理

するものとします。サポートID等の管理不備、使用上の過誤および第三者の使用等（以下「使用過誤等」といいます）により契約者または第三者が損害を被った場合であっても、当社は一切責任を負わないものとし、契約者は、使用過誤等により当社が損害を被った場合、当該損害を賠償するものとします。

以上